

奄美大島産本ハブ革

なめし加工について

全ての加工は買い付けたハブを「さばく」ところから始まり、さばいた「ハブ皮」は約14の工程を経て一枚一枚丁寧になめされ、「ハブ皮」から「ハブ革」へと生まれ変わります。



【原色なめし】

着色料を一切使用せず、ハブ本来の持つ体色を最大限に引き出す技法。主に「金ハブ」と呼ばれる体色のハブをこの技法でなめします。

【白黒なめし】

蛇の体鱗の模様を引き立たせる為に白と黒で明暗をつける技法。主に「銀ハブ」と呼ばれる体色のハブをこの技法でなめします。



HaraHabuya

since.1948